

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)3月に実施しました。

従業員(各週1日出勤の非常勤を含む)8人中8人が答え
てくれました。

公表:令和4年5月13日

事業所名 きらとまなぶ

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・本居空間	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8			利用する児童が多い時は課題をする時におやつ部屋や、勉強部屋などを使い、部屋をわけて窮屈感をあまり感じさせないようにしています。	宿題をする時や、おやつを食べる時などにはどうしてもホールに集まってしまう事があるので、なるべくホール全体を使いながらさらに空気循環なども行いながら対応しています。部屋が空いた時点で、空いている部屋に移動したりしながら過ごしています。
	2 職員の配置数は適切である	3	2	3	児童数が急に増えたりすることがあり、その時には足りないと感じることがあります。その際はケガのないように、声をかけあいながら対応しています。	配置上がいけていても、一人必ず職員がつく児童がいる時や児童の状況、送迎などがかぶると手薄になることがありますので、全体を見ながら児童と関わるようにしています。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4		3	玄関に段差がありますが、他はバリアフリーなっています。トイレにも安全に座れるように手すりをつけています。ドアの隙間に手を挟む可能性がありますので、ドアストッパーなど使いながら対応しています。	コンセントなどが出ているとケガのもとにもなりますので、コンセントの位置などにも気を付けます。また、角など危ない所には保護できるクッションを付けています。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	2		5	朝からの職員とは話しあったりする機会がありますが、昼から出勤の職員とは時間がつかれずに話しあえていない時もあります。	全体会議などを通して児童の様子を常に把握が出来るようにしたいと考えています。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		3	毎年度3月にアンケートを出しています。それをもとに話し合い、改善できるようにしています。	保護者様の意見を参考に改善できるように話しあっていきたいと思えます。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5		3	ホームページが出来てから事項評価の結果を載せています。	ホームページ以外でも職員に直接結果票を渡して、すぐ見れるようにしたいと考えています。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2		4	第三者による外部評価は出来ませんが、他事業所に聞いたりしながら、業務改善に努めています。	事業所連絡会を通して、他事業所の良い所を聞きながら業務改善に繋げていきたいと思えます。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		2	事業所連絡会の中で、必要な研修に取り組んでいます。	昼からの職員が参加出来ない研修もありますので、報告がしっかり出来るように努めていきたいと思えます。
虐待防止対策の実施	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8			職員同士で話し合い、ニーズ整理をしています。	全体の職員で話しあえていないので、全員の職員とも話しあえる機会を作りたいと思えます。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7		1	独自のアセスメントツールを使用したりしながら整理をしています。すぐに整理できるように業務日報に毎日の児童の様子を書いています。	日頃から児童の様子がわかるように業務日報にその日の様子を記入しています。変化などがあつた時などは児童の変化の所に記入しています。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	6		2	職員が交代で考えています。	同じ職員になる事もありますが、色々な職員が立案できるように交代で行っています。

12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	1	成長する児童に合わせて活動を変化させています。その話し合いを職員としています。	季節のイベントはありますが、児童の成長に合わせた活動を企画しています。全員で参加できる活動、年齢に合わせた活動など全員が楽しめるように日々考えています。	
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	1	長期休暇に入る前に課題の整理などを行い、日々考えています。	児童に合わせて、達成しやすい目標を日報に記入しています。	
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成している	7	1	計画書を作成する際は、個別活動や集団活動の取り組みを踏まえながら作成しています。	児童は日々成長しますので、成長に合わせた計画書を作成するように心がけています。集団活動がまだ難しい児童でも、この場面の際には一緒に参加するなどを考えながら作成しています。	
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	1	朝礼の際に児童の変化や様子などを話しあってから、始めています。		
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	2	1	業務終了後には児童の様子を日報に一人一人記入する欄がありますので、必ず記入し支援の改善に繋がっています。	非常勤の職員は記入をする事がなく、正社員で話し合いながら記入しています。それを船化するために、非常勤が見る用のファイルを用意して都度確認が出来るようにしています。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	2	1		
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	1	毎年度ガイドラインに沿って、モニタリングを行っていますが、今年度はコロナ禍で、職員や保護者の方と話せる時間が少なかったこともあり、見直しに時間がかかってしまいました。	保護者の方に電話で聞き取りをしたり対応しながら、進めています。4月からは再度見直しも含め、しっかりと対応できたらと考えています。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っている	5	3			
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	1	同じ職員になることもありますが、子どもの状況に精通した職員が参加するようにしています。	事前に資料も作成し、ふさわしい職員の参加が難しい場合でも対応できるようにしています。	
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	3	保護者の方に聞き取りし、下校時刻など間違えないように対応しています。変更などがあった際には朝礼時や、業務日報などに記入しています。	業務日報に載せていない事もありますので、話し合ったことを載せていくように再度気を付けていきたいと考えています。	
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	×	×	×	医療ケアのお子さまは利用していません。	医療ケアのお子さまは利用していません。
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	3	コロナ禍で訪問が難しいので、訪問などは難しいですが様子の聞き取りは必要がある際には行っています。	感染が落ち着きましたら、きらとまなぶの利用が決まった際に、事前に保育園などに見学したり電話でのききとりを考えています。	
24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6	2	卒業する保護者の方には、支援内容の情報提供が出来る事を毎年度伝えています。わたしノートなどを活用して支援の情報を保護者の方にお渡ししました。	わたしノートを活用したことで、保護者の方から「助かりました」とお返事を頂きました。移行先に引継ぎ等をこれからも行っていきたいと思っています。	
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	4	保護者の方の了承のもと、常に連携し助言や情報共有をさせて頂いています。	引き続き、何か分からないことがあった際には連携していきたいと思っています。	

26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	1	5	コロナ禍で出来ない状況にありました。	感染症が落ち着きましたら、改めて地域への関わりを増やしていきたいと思います。	
27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2		5	1	今年度、自立支援協議会の児童部会が発足し参加しました。	発足したばかりですので、これから積極的に参加し検討会などをしていきたいと思います。
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8				児童の変化等常に話し合っています。	伝え忘れてしまう事もありますので、その日のあった事などはその日のうちに伝えるように心がけていきます。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6		2		成長に合わせて、子ども達の変化など様子を常に保護者の方と話すようにしています。直接話し合う機会が今年度は作れませんでした。	コロナ禍の中で直接話し合う事が出来ない中、新しい方法での支援を考えています。ZOOMなどを使いながら保護者の方向けの研修などを行いたいと考えています。
30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		2		契約時に説明するように心がけています。	契約の際にお話しした上で、分からないことがあった時はいつでも連絡して下さいと伝えています。
31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8				基本的には児発管がお話をする機会が多いですが、他の職員も経験豊富な方が多いので、その場での助言が難しい場合は色々な職員に聞き取りした上で、再度お話しをしています。	児発管だけの考えでなく、色々な職員の観点から相談内容について、助言などが出来たらと思っています。
32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3		5		昨年度はコロナ禍により開催出来ていません。	上記と同じように、コロナ禍での新しい方法(ZOOMなど)で保護者会を開き、連携を支援していきたいと思います。
33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8				その日のあった事などは、すぐに職員同士で話し合うようにしています。	職員同士で話し合い、迅速に解決が出来るように考えています。
34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2		5	1	ブログに様子を載せていますが、個人ページは作成できていません。	最近ではブログを載せていないことも多く、再度話し合っていきたいと思います。
35	個人情報に十分注意している	8				研修等や会議などで個人情報の扱いについては話しています。	細かなところで個人情報にひっかかることもありますので、再度注意してまいりたいと思います。
36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7		1		お手紙などには子どもたちや大人が見る際に、漢字だと難しい時にはルビを打ったり、個人的にひらがなで文章を作成したりしながら対応しています。	お知らせなどは、どんな方でも分かりやすく伝えられるように心がけています。配慮不足の時は教えて頂けたらと思っています。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			3	5	コロナ禍により、お呼びが難しい状況にありました。	感染症が落ち着きましたら、改めて考えていきたいと思っています。
38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4		3	1	作成しています。	再度作り直したマニュアルもございますので、保護者の方にも周知できるようにしたいと考えています。
39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		3		年に2～3回避難訓練を子ども達と行っています。コロナ禍により昨年度は消防士の方をお呼びするのが難しかったのですが、毎年度消火器の使い方など実際に訓練する時間を設けています。	近くの避難所へ逃げる訓練も行っていますが、コロナ禍で昨年度は行えませんでした。4月からコロナ感染が落ち着いた頃合いを見て、再度、消防訓練、近くの避難所へ逃げる訓練等行っていきたいと思っています。

40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	2	毎年度、虐待防止の研修に参加しています。	研修した際は直ぐに伝達研修が出来るようにしたい思います。
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	3	契約の際に事前に署名を頂いています。止むおえず拘束等を行った際は直ぐに電話で状況などを連絡するようにしています。	今後も何かあった際は必ずお電話などで直接ご報告させていただきます。
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8		契約の際に保護者の方に確認しています。原材料で不安なときは事前に連絡し確認してから食べています。	引き続き、アレルギー対策はしっかりとしていきたいと思っています。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	2	1 ヒヤリハットが出た時は記入してもらっています。	ヒヤリと思う度合いに違いもありますので、職員同士で話し合っ進めていきたいと思ひます。